

GSJ

地球をよく知り、地球と共生する

地質ニュース

2021
10
Vol.10 No.10



10月号

235 斑れい岩類：その種類・成因と特徴 山崎 徹

242 海外自然史博物館紹介シリーズ（その1）
IMA（国際鉱物学連合）2010 開催地ハンガリーの大学（ELTE）
の自然史博物館 ～鉱物学の歴史を垣間見る～ 柳澤教雄

251 資源をつくる水のちから –その1 鉱物資源– 佐脇貴幸

267 新刊紹介 旅客機から見る世界の名山

GSJ 地質ニュース編集委員会

委員長 宮地良典
副委員長 小松原純子
委員 杉田創
児玉信介
戸崎裕貴
森田雅明
宇都宮正志
森尻理恵

事務局

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
地質調査総合センター
地質情報基盤センター 出版室
E-mail : g-news-ml@aist.go.jp

GSJ 地質ニュース 第10巻 第10号
令和3年10月15日 発行

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
地質調査総合センター

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1 中央第7

印刷所

GSJ Chishitsu News Editorial Board

Chief Editor : MIYACHI Yoshinori
Deputy Chief Editor : KOMATSUBARA Junko
Editors : SUGITA Hajime
KODAMA Shinsuke
TOSAKI Yuki
MORITA Masaaki
UTSUNOMIYA Masayuki
MORIJI Rie

Secretariat Office

National Institute of Advanced Industrial Science and Technology
Geological Survey of Japan
Geoinformation Service Center Publication Office
E-mail : g-news-ml@aist.go.jp

GSJ Chishitsu News Vol. 10 No. 10
October 15, 2021

Geological Survey of Japan, AIST

AIST Tsukuba Central 7, 1-1-1, Higashi, Tsukuba,
Ibaraki 305-8567, Japan

気仙沼湾周辺に露出するペルム系岩井崎石灰岩と大規模防潮堤 [cover photo](#)



気仙沼市の岩井崎周辺には主に生砕物からなる石灰岩が広域に露出し、ペルム紀中期のフズリナや四射サンゴ、腕足類、ウミユリ等の多様な大型化石を露頭観察することができる南部北上帯有数のジオサイトである。これらは、当時の熱帯域で形成された生物礁が起源であったと理解されている。この岩井崎を含めた気仙沼湾一帯は、2011年東北地方太平洋沖地震による大津波によって大規模に被災し、現在もその復興過程にある。湾を介した対岸(写真奥)には、被災後に大規模にコンクリートで護岸された大島西岸の海岸線が見える。

(写真・文：七山 太 産総研地質調査総合センター地質情報研究部門)

Permian Iwaizaki limestone exposed around Kesennuma Bay and the large seawall against tsunami. Photo and Caption by NANAYAMA Futoshi